

米国 オフィス市場の 「ひと、ビル、まち」に触れるツアー

オフィスビルが林立する米国都市部視察&BOMA総大会参加で世界と交流する

テキサス州

サンフランシスコ

BOMAサンアントニオ総大会参加及び米国ビル事情視察団 ツアー日程／2018年6月20日(水)～28日(木) 7泊9日

米国BOMAツアーは、昭和50年以来ほぼ毎年主催している、ビル協会員を対象とした研修ツアーです。BOMA(Building Owners and Managers Association)インターナショナル(全米ビル協会)が米国各地で行う年次総大会に参加するとともに、他1都市(今年はサンフランシスコ)を訪問。現地のネイティブマネージャーとの接点を何より大切に、

- ★現地でのビル見学を通じてアメリカの新しいオフィス動向を知る
- ★BOMA総大会で海外のビルマネージャーとの直接の交流と情報交換
- ★最新のビル経営の課題を学べる多数のセミナー(同時通訳を用意して安心)
- ★まちの開発や集客施設も事情を見聞

を魅力として、“毎日”何らかの全体プログラムが用意されています。ツアー後も同窓者を通じたビル業界内のネットワーク形成にも資するでしょう。裏面にこれまでにご参加いただいたお客様より本ツアーの魅力を語っていただきました。ツアーご応募を心よりお待ちしております。



BOMA2017の様子

+ サンフランシスコ視察3日間 シリコンバレーも予定

2018年BOMAサンアントニオ総大会

BOMA International Annual Conference & Expo

開催日:2018年6月23日(土)～26日(火)

開催場所:ヘンリー・B・ゴンザレス・コンベンションセンター

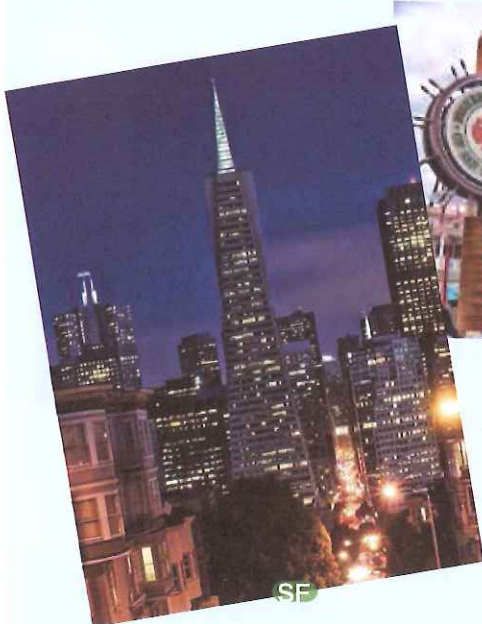
<http://www.bomaconvention.org/BOMA2018/>

BOMA2018
INTERNATIONAL CONFERENCE & EXPO
Presented by BOMA International and BUILDINGS
HENRY B. GONZALEZ CONVENTION CENTER | SAN ANTONIO, TX
JUNE 23-26, 2018

ウェルカムパーティー 専門セミナー 全体セミナー ビルディングショー 国際局ワークショップ 開発区ウォーキングツアー TOBY賞 レセプション&バンケット

過去5年のBOMA総大会開催 及び前後の視察都市

	前	大会開催都市	後
2013		サンディエゴ	ポートランド
2014		オーランド	シカゴ
2015		ロサンゼルス	ロサンゼルス
2016		ワシントン	ニューヨーク
2017	シカゴ	ナッシュビル	



サンアントニオ

お客様の声

BOMA International Conference & Expo2018へ向けて！
初めてアメリカBOMA総会ツアーへ参加させて頂いた際の第一印象は、到着した空港から始まり、街、建物、食べ物に至るまで、とにかくスケールの大きさでした！

ビルディング協会様にて毎年アレンジされています本総会ツアーは、①総会へ参加し、主に卓上にてアメリカBOMAの取り組みやプレゼンを、②総会開催地以外のアメリカ都市へ移動して実際のビル施設等現地を視察する2部構成になっており、9日間の限られた時間の中でアメリカ国内のビル事情について広く学ぶチャンスです。

過去何度か参加させて頂いた中で感じるには、日本とアメリカでは言語、文化、法律制度、慣習等様々な違いがありますが、ビル業界も勿論例外ではありません。日常の国内業務では経験の出来ないアメリカらしい取り組みや考え方を見聞きし、帰国後ご参加者それぞれの持ち場へ戻られた際アイデアを考える上で良きヒントになるうかと思えます。

2018年ご参加される皆様にとりまして有意義なツアーとなりますように！



泉吉株式会社 取締役 岸本 将裕様

過去数回ご参加 2016年・2017年副団長



株式会社 懇和会館
理事 萩本昌史様

2015年、2016年、2017年ご参加

BOMA International Conference & Expo2018への参加をお勧めします

2017年は団長の櫻井専務理事他全国ビルディング協会の会員の皆様と一緒に、シカゴ、ナッシュビルを訪問しました。弊社は若手社員も参加して貴重な体験を積み、帰国後の業務にも大变得るものが多いと感じています。

米国でビルの運営についてどのようなテーマが議論されているかを、ビル視察や、総会、セッションを通じて実感できる充実した内容が特徴です。

BOMA総会では代表によるビル業界の課題と展望の提示の他、BOMAが認定する優良ビルの認定プログラムであるBOMA360取得ビルの紹介。トップランナーのビルが受賞するTOBY賞授賞式など盛りだくさんです。

米国全土をはじめ日本ビルディング協会の会員が参加する国際局ワークショップでは北米、中米の他中国などが出席し、アジアからの参加者は年々増えているとの印象です。

教育セッションではエネルギー、サステナビリティ、テナントの満足、スタッフの教育、等のテーマで報告・活発な討論が行われ、ビル運営の責任者たちの率直な意見の交換の場になっています。BOMAへの参加のもう一つの魅力は、現地のビル視察です。昨年は総会開催地のナッシュビル他に、シカゴを訪問し、ビル協事務局のアレンジ頂いたツアーに参加しました。

2017年TOBY賞で歴史的建築物のカテゴリーで受賞し他多くの受賞を誇るシカゴのランドマークでもあるThe Wrigley Buildingも訪問でき、優れた建築物はリノベーションを重ね収益を確保しているのを実感できました。

BOMAには4年前のオーランド総会以降連続して参加しています

当初は一回限りのつもりでしたが、非常に楽しかったので、毎回参加するようになりました。BOMA総会ではTOBY賞や、日本でも最近認知度が高まってきたBOMA360等の各種ビルの表彰に加え、様々なイベントやセミナー、ビルディングショーが開催され、とても賑やかで祭りのような雰囲気です。

また、このBOMAの視察ツアーでは、総会の開かれる都市とは別に、もう一都市、視察が計画されています。普段入れない場所や内部情報以外に、特に楽しみにしているのが、現地ビルの屋上から見下ろすその都市の景色です。昨年のシカゴのシアーズタワーやリグレービルディングなどをはじめ、これまで各都市の有名ビルの屋上に登らせてもらいました。その中であえて印象に残るものをあげるなら、ロサンゼルスUS・BANKタワーとニューヨークのタイムズスクエアタワーです。

ロスではピナリーヒルズからサンタモニカービーチまで360度、彼方まで一直線に大通りが伸びるロサンゼルス全体を視界に収めることができ、ニューヨークでは、年越しのカウントダウンのポールを正面にタイムズスクエアだけでなくマンハッタンに広がる高層ビル群を俯瞰的に眺めることができ、とても興奮しました。

時差もあり行程的にハードな一面もありますが、今年の開催は、サンアントニオということもあり、BOMAでできた知人に会えるのも含め楽しみです。



事務機ビル株式会社
(九州ビルディング協会)
代表取締役

中西 幹治様

2014年、2015年、2016年、
2017年ご参加